

検証事項と進め方〔第7回（前々回）及び第8回（前回）確認事項〕

I 中間報告

No.	検証を要する事項（指摘）	進め方
1	県によれば、家族からの転所の希望はなく、また、県において県内施設に打診したところ、利用者の受入先はなかったとのことである。この点、緊急時の対応という側面は否定しないが、県がより積極的な対応を図ることができなかったのか、なお検証が必要である。【P22 III】	保護者に対して転所の希望、民間施設に対して入所者の受入れの可否、受入れ条件等のアンケートを実施し確認する。
2	県立施設の設置者としての県の責任については、県が、千葉県障害福祉施策の推進に当たってセンターをどのように位置付け、その施策・方針の達成に向けて、どのように進捗管理していたか（その際には、センターの管理運営を委託する事業団に対して、県が十分に指導監督してきたか、ということも含まれる。）、ということも含めた検証が必要である。【P23 IV】	「行財政改革の動向と社会福祉事業団・袖ヶ浦福祉センターの見直しの変遷」ほかを基に検討する。 過去の県監査担当者等からのヒアリングを実施する。 センターで実施してきた強度行動障害支援事業の状況、その原因等について検証する。
3	更生園における強度行動障害者の行動改善の支援ノウハウの情報発信等による民間施設等との連携強化に係る取組みについては、検証が必要である。【P23 IV】	民間施設との間で支援ノウハウ等が共有されていたのかアンケートを実施し確認する。
4	指定管理者制度の導入や、その後の運用が、事業団・センターの運営に与えた影響についても、更に検証が必要である。【P23 IV】	「行財政改革の動向と社会福祉事業団・袖ヶ浦福祉センターの見直しの変遷」・「他都道府県県立施設における職員数と給与の状況」ほかを基に検討する。
5	センターは、県立施設として強度行動障害支援等に先駆的に取り組み、民間施設では支援が困難な人を受け入れる旨示し、その役割を担ってきた。 地域資源との連携等に向けた取組みも含め、その「あり方」が実現されたのか、今後どうあるべきか、県内の様々な関係者の意見を聞きながら検討する必要がある。【P23 IV】	民間施設に対してセンターが果たしてきた役割等についてのアンケートを実施し確認する。
6	センターの「あり方」に最も相応しい運営形態については、指定管理者制度の導入・運用が受託者たる事業団の法人運営に与えた影響を踏まえ、運営改善状況や利用者の地域移行の状況も見極めつつ、利用者にいかに安定的かつ質の高いサービスを提供できるかといった観点から、なお検証を要する。【P24 IV】	「社会福祉事業団による管理運営を踏まえた袖ヶ浦福祉センター運営形態の選択肢案」ほかを基に検討する。
7	診療室と寮（支援員）とのコミュニケーションが不十分であった。そのため、ルールはあっても、診療室以外の病院から処方された薬や保護者持ち込みの薬を含め、投薬状況を一元的かつ適切に管理することができていなかったと考えられ、なお検証が必要。【P37】	看護師の配置等により改善がはかられているが、引き続き進捗管理する。 (5/28の県確認調査で改善が確認された。)

Ⅱ 保護者説明会（3/29・1/26・12/13）等

No.	検証を要する事項（指摘）	進め方
8	ソフト面の開放性だけでなく、完全に施錠され庭にも自由に出られない中で生活している建物の構造にも問題がある。 鍵をかけることにより、職員が試行錯誤して適切な支援を考える機会を奪ったのでは。【3/29】	センターのあり方（閉鎖性）を検討する中で、施設・設備の環境整備について検討する。（事業団の検討状況もみていく。）
9	共用部分への防犯カメラの設置。カメラがある程度の虐待防止に結びつく。【12/13】 第1回の保護者説明会時の防犯カメラ設置希望について、3月29日の事業団改善計画では全く触れていない。考えてほしい。【3/29】 新規入所施設開設時に、プライバシーへの配慮を前提にカメラを導入。カメラにより、スタッフの乱暴・入所者の自傷事故ともに判明する。”観察”カメラは支援の役に立つ。	事業団においても保護者の意見を聞きながら検討が始まったところであり、その検討状況もみながら、引き続き検討する。
10	診療記録や投薬記録などが、家族や職員・支援員全体、医療職、誰もが一目で見てわかるような、情報共有のITシステムを作って欲しい。 支援員が記録を付けることに迫られて多忙にならないよう、また（支援員が代わってもすぐに）日常生活や細かい支援内容がわかるよう、記録のシステム化により合理化できるところは合理化して、支援に力を注げるような形にしていきたい。【3/29】	事業団においても検討が始まったところであり、その検討状況もみながら、引き続き検討する。
11	診療室には5～6年前は内科専属の医者もいたと思うのに、今はいない。問題がおきたときが心配。【3/29】	専門家からのヒアリングを実施する。 （第8回検証委員会においてヒアリングを実施した。）
12	県職員も養育園等の現場を体験して、これで現場がやっていけるか考えてほしい。【1/26】	県職員のセンターの实地研修の実施に向けて検討中。
13	県の施設で、事業団が運営するという、このシステムのメリットが感じられず、責任の所在がはっきりしない。県が運営することはできないか。【3/29】	「社会福祉事業団による管理運営を踏まえた袖ヶ浦福祉センター運営形態の選択肢案」ほかを基に検討する。
14	平成18年に指定管理者になったが、その前から地域へという流れがあり、それでこういう形になったと思う。他の都道府県ではどういった状況なのか。【1/26】	資料「都道府県立施設等における強度行動障害のある方への支援状況等について」ほかを基に検討する。